



「花」：逸見 有

宮城・山形を表現し続けたい作家4名をシレー方式で紹介していく個展シリーズ

作家4名の個展シリーズ

表現し続けたい作家

参加作家

鈴木 千賀子 (Suzuki Chikako)

逸見 有 (Yuki Arima)

大竹 徹祐 (Otake Tetsuhiro)

妻 (Tsumi)

2020年 8月3日[月] → 10月25日[日] 10:00 → 17:00

休館日：8月13日・15日・8月24日・26日・9月14日・16日・10月5日・7日(夏季・展示準備期間休館)

会場：ぎやらりーら・ら・ら 山形県山形市諏訪町一丁目2-7 **入場 / 無料**

主催：やまがたアートサポートセンターら・ら・ら / 社会福祉法人愛泉会 協力：障害者芸術活動支援センター@宮城(SOUP)

2020年 8月3日[月] → 10月25日[日] 10:00 → 17:00 休館日：8月13日→15日・8月24日→26日・9月14日→16日・10月5日→7日 (夏季・展示準備期間休館)

会場：ぎやらりーら・ら・ら 山形県山形市諏訪町一丁目2-7 入場 / 無料

表現し続けるアーティスト

作家4名の個展シリーズ

宮城県と山形県で表現し続けている4名の作家の個展をリレー方式で行います。日々、自分の表現を模索し、作品を生み続けている4名の作家の、独自の世界観を感じてみてください。

8月3日[月] → 8月23日[日]

鈴木 千賀子 (すずき ちかこ)

『こころのまなざし』

写真を撮ることで、自分の苦しみや悲しみを解放する事を覚え、伝えることが苦手な私が、伝える喜び、楽しみを学びました。そんな私の心にリンクした写真たちです。

1973年生まれ。私が写真を撮り始めたきっかけは、自分の心を表現したかったからです。私は昔から、自分の気持ちや意見を言葉にするのが苦手でした。でも自分の事はわかってほしい。そんな気持ちから写真を撮りました。被写体は特にこだわりはなく、ふとした時に目についた「力を感じるもの」「自分の心とリンクするもの」「おもしろいもの」等を撮っています。

山形

8月27日[木] → 9月13日[日]

逸見 有 (へんみ たもつ)

『逸見有作品展』

1961年生まれ。入院中にあった出来事に大きな影響を受け、退院後、病気の療養中に絵を描き始める。テーマのほとんどが、瓶に挿した花で、赤を基調色にしたものが多い。描き始めて一時間もたつと、無の境地に到達し、気がつくとい心不乱に描いている。無意識の中で描いていることがほとんどなので、色使いやタッチは、いつの間にか変化してきた。生きているものとにかく関心があり、万物の創造主である自然に大変魅力を感じている。花は私にとって強烈な色彩を使って表現できる、かけがえないものだ。これからも無限の色彩を使って絵を描き、そこから幻想的に生命の輝きを浮かび上がらせ、私の心の中で爆発する魂の叫びを表現していきたいと思っています。

山形

9月17日[木] → 10月4日[日]

大竹 徹祐 (おのたけ てるひろ)

『大竹徹祐作品展』

1977年生まれ。幼少期、自分を負ぶう母親の背中に絵や文字を描いて以降、ずっと描き続けている。支援学校在学時、先生に絵の才能を見出される。一時福祉事業所に通い、指定されたものを手仕事で制作したケナフやコピー用紙に、マジックを用いた線画を多数描く。現在は自宅日々を過ごし、幼い頃に見たテレビ番組や数年前に描いたモチーフを、記憶だけを頼りに繰り返し描く。キーボードで自作の曲を弾いたり、パーブロックによる立体物の制作も行っている。

宮城

10月8日[木] → 10月25日[日]

奏 (かなで)

『きらきら唄う』

青色に気持ちが溶けて、自分がおおになっっている。絵を描くことで心になりたいのだと思います。もっと癒されたい。楽しさを噛みしめたい。子どもと仲良くなりたい。気持ちをぶつけたい。色でその時々気持ちを感じていたい。だから私は絵を描き続けているのだと思います。

1983年生まれ。自宅の野の草花、庭の草花、音楽、子どもの絵などを色鉛筆や水彩絵具などで描く。デッサンを習っていた時期を経て2015年頃から力を入れて描き始める。仙台市内で絵画展を数回開く。自分の絵を紙製品にして販売する。絵を描くことが習慣になり、表現に取り組んでいる。

宮城



1



2



3



4

1. 鈴木千賀子：「ハミカミスマイル」 2. 逸見有：「窓辺」
3. 大竹徹祐 4. 奏（かなで）：「春陽」

要予約 作家来廊日

下記の日時で作家が滞在します。作家来廊日にご来場のかたは、ぎやらりーら・ら・らまで事前にご連絡ください。

- 鈴木千賀子さん 8月9日・11日・14日 [各日13時半～15時半]
- 逸見有さん 8月28日 [14時～15時]
- 奏さん 10月8日・17日・18日・19日・25日 [各日10時～13時]

※予定変更になる場合は、「やまがたアートサポートセンターら・ら・ら」のホームページで発信いたします。

入場にあたりましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、次のことにご留意いただきますようお願いいたします。

- ・マスクの着用にご協力ください。
- ・会場の入口に消毒液をご用意しますのでご利用ください。
- ・密集の状態を作らないため、入場制限をさせていただきます場合がございます。
- ・感染者が発生した場合の対策として、連絡先の記入にご協力をお願い申し上げます。(お預かりした個人情報は厳重に管理を行い、本目的以外では使用いたしません。)

【お問い合わせ】



GALLERY LaLaLa

やまがたアートサポートセンターら・ら・ら / 社会福祉法人愛泉会ぎやらりーら・ら・ら

〒990-0033 山形市諏訪町一丁目2番7号 TEL: 023-674-8628 FAX: 023-674-8629 開廊時間 / 10:00～17:00

やまがたアートサポートセンターら・ら・ら / ぎやらりーら・ら・らとは？

社会福祉法人愛泉会では、2011年に障がいのある人の作品を発信する場「ぎやらりーら・ら・ら」を開館し、2016年から山形県の事業として「やまがた障がい者芸術活動推進センター」2020年からは「やまがたアートサポートセンターら・ら・ら」として、山形県内の障害のある人の芸術活動の普及支援に取り組んでいます。障害のある人の芸術文化活動のさらなる充実を目的に「相談支援」「人材育成」「ネットワークづくり」「発表機会の創出」「調査発掘・発信」を実施しています。活動を通して、多様性の理解促進をはかり、新たな価値創造の発信を続け、互いを尊重し理解しあえる包容力のある地域社会創造のため活動していきます。

